

検電器チェッカ取扱説明書 (CL-1 シリーズ)

■概要

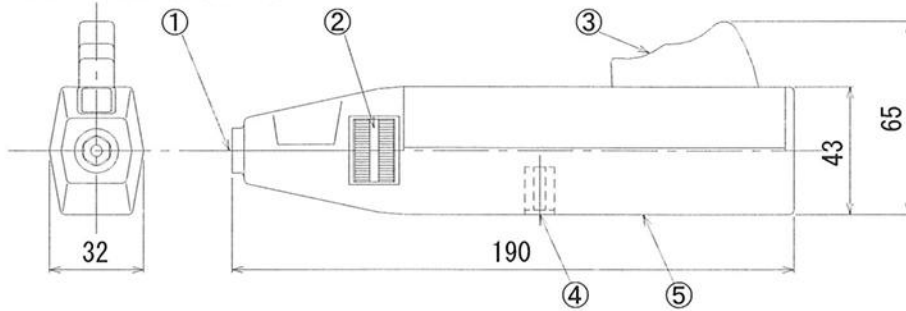
本器は電源・電池を必要とせず、どのような場所でも検電器の検知部からパルス電圧を加え、動作チェックが行える検電器チェッカです。

■仕様

型式	仕様	外形寸法(mm)	質量(g)	付属品									
CL-1-05	発生電圧 (負担抵抗 500MΩ) 約 2,000V	190×65×32	300	<ul style="list-style-type: none"> ・リード線 1本 ・収納ケース 									
CL-1-06	発生電圧 (負担抵抗 500MΩ) 電圧調整ダイヤルの表示と出力 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>出力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>STOP</td> <td>※不安定</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>約 3,500V</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>約 7,500V</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>約 11,500V</td> </tr> <tr> <td>STOP</td> <td>※不安定</td> </tr> </tbody> </table>				表示	出力	STOP	※不安定	10	約 3,500V	20	約 7,500V	30
表示	出力												
STOP	※不安定												
10	約 3,500V												
20	約 7,500V												
30	約 11,500V												
STOP	※不安定												

※電圧調整ダイヤルの「STOP」位置以上に回転させますと破損しますので注意してください。

■外形寸法及び各部の名称



No.	名称
①	先端出力ジャック端子
②	電圧調整ダイヤル(CL-1-06のみ)
③	ハンドル
④	アース端子
⑤	本体カバー

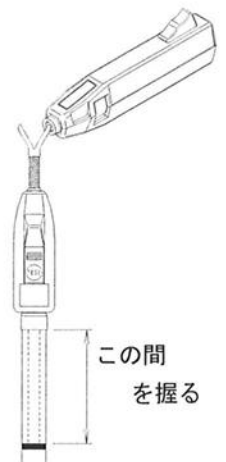
■構造

- ・先端部に先端出力ジャック端子があり、ハンドルを握ることにより電圧が発生します。
- ・電圧調整ダイヤルは3点切替になっており、発生電圧の調整が行えます。(CL-1-06のみ)
- ・本体中央部下部にアース端子があります。アース端子付き検電器のチェックのときは検電器のアース端子に接続します。
- ・握り部にはハンドルがあり、ハンドルを握ることにより内部の圧電素子に圧力が加わり、パルス電圧が発生します。

■使用方法

- ①検電器の動作開始電圧に合わせて電圧調整ダイヤルをセットする。(CL-1-06のみ)
- ②検電器の握り部を握り、先端出力ジャック端子に検電器の検知部を接触させる。
検知部が、接触させにくい形状の場合は、付属のリード線を先端出力ジャックに差し込み、リード線のもう一端のクリップを検電器の検知部にはさむ。
- ③ハンドルを連続的に数回握ると先端から電圧が発生し、検電器の動作チェックが行えます。
- ④検電器にアース端子がある場合は、チェッカのアース端子と検電器のアース端子をリード線で接続してください。

※動作開始電圧が10kV以上の検電器(当社検電器HST-170/250など)の場合は、右の図の検出器下部の電極部(検出器と赤色ライン間)を、ハンドルを握る逆の手で握り試験を行ってください。



■使用上の注意

- ※電圧範囲の確認: 本器は特高用の検電器チェッカです、低圧検電器には使用しないでください。
- ※空打ちの禁止: ハンドルを握ると高電圧のパルス電圧が発生しますので、検電器を接続しない状態では、ハンドルは握らないでください。発生した高電圧が人体に流れ強い電気ショックを受ける場合があります。又、圧電素子が破損する原因にもなりますので絶対に行わないでください。
- ※試験後の注意: 試験中又は、ご使用直後に先端に触れますと電気ショックを感じる場合がありますので、触れないように注意してください。